

安全データシート

改訂日:2022年8月8日

1. 製品及び会社情報

製品名
推奨用途
会社名
住所
電話番号

アセトカルミン溶液
試験研究用
米山薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
AA0390

整理番号

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性・刺激性:区分1A
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:区分1
特定標定臓器・全身毒性:区分1(血液、呼吸器系)
(単回ばく露)
水生環境有害性 短期(急性):区分3

環境に対する有害性

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起後

危険有害性情報

危険

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

重篤な眼の損傷

臓器の障害(血液、呼吸器系)

水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

取扱い後は手などをよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

環境への放出を避けること。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

【応急措置】

飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚又は髪に付着した場合、直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師の連絡をすること。

直ちに医師に連絡すること。

特別な処置が緊急に必要である。

汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。

【保管】

容器を密閉して涼しく換気の良いところで保管すること。

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名又は一般名

別名

成分及び含有量①

化学式

官報公示整理番号(化審法/安衛法)

化学物質を特定できる一般的な番号

成分及び含有量②

化学式

官報公示整理番号(化審法/安衛法)

化学物質を特定できる一般的な番号

成分及び含有量③

化学式

官報公示整理番号(化審法/安衛法)

化学物質を特定できる一般的な番号

混合物

アセトカルミン溶液

酢酸カーミン溶液

酢酸 約37%

 CH_3COOH

(2)-688/公表

CAS RN: 64-19-7

カルミン 1%

 $\text{C}_{22}\text{H}_{20}\text{O}_{13}$

—

CAS RN: 1390-65-4

水 約62%

 H_2O

—

CAS RN: 7732-18-5

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぎ、皮膚を流水・シャワーで洗うこと。

多量の水と石鹸で洗うこと。

汚染された衣類を再使用する場合には選択すること。

[illegible]

動粘性率(粘度)	該当情報なし。
溶解度	該当情報なし。 水に混和する。
n-オクタノール/水分配係数	該当情報なし。
蒸気圧	該当情報なし。
密度及び/又は相対密度	約1.045
相対ガス密度	該当情報なし。
蒸発速度	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
反応性・化学的安定性	法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	酸化剤、塩基と激しく反応する。多くの金属を侵して引火性/爆発性気体(水素)を生じる。ある種のプラスチック、ゴム、被膜剤を侵す。39℃以上では、蒸気/空気の爆発性混合気体を生じることがある。
避けるべき条件	39℃以上の高温
混触危険物質	酸化剤、塩基、ある種のプラスチック、ゴム、被膜剤
危険有害な分解生成物	水素
11. 有害性情報	
急性毒性	経口： 酢酸のラットのLD50値=3310、3530 mg/kg (PATY (5th, 2001))に基づき、JIS分類基準の区分外とした。 経皮： 酢酸のウサギのLD50値=1060 mg/kg (PATY (5th, 2001))から、ガイダンスの加算式を用いると、2864mg/kgであるため、区分外とした。 吸入(蒸気)： 酢酸のラットの LCLo=16000 ppm(PATY (5th, 2001))は区分4あるいは区分外に相当することから分類できないとした。なお、飽和蒸気圧濃度の90%(20394.7ppmV * 0.90 = 18355ppmV)より低いので、分類にはガスの基準値を適用し、区分外とした。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	酢酸のウサギあるいはモルモットを用いた試験(PATY (5th, 2001)、ACGIH (2004))において、刺激性の程度はばく露の濃度と時間に依存し、特に50～80%以上の濃度では重度の熱傷と痂皮形成が観察されている。皮膚腐食性のカットオフ値は5%であるため、区分1とした。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	ウサギ眼に氷酢酸を適用直後に破壊的損傷を生じた(ACGIH (2004))こと、別の試験で10%以上の濃度で永続的角膜損傷を伴う重度の刺激性を示した(IUCLID (2000))こと、ヒトで誤って眼に入れてしまった後直ちに洗浄したにも拘らず角膜混濁や虹彩炎を起こし、上皮の再生に何ヶ月も要し特に角膜混濁は永続的であったとの症例報告(PATY (5th, 2001))がある。皮膚区分1または眼区分1,2として分類される混合物のカットオフ値は3%であるため、区分1とした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性 酢酸による惹起に陽性反応を示した気管支喘息の患者や、アルコールまたは酢酸にばく露され I 型過敏性反応類似の反応を呈したヒトが報告されている(PATY (5th, 2001))。またエタノールにアナフィラキシー反応と酢酸に即時型アレルギーを示したとの報告もある(HSDB (2005))。しかし、以上の報告は極めて稀な症例であり、またその他にヒトに対しての報告や動物による試験報告などはなくデータ不足のため分類できない。なお、当該物質と喘息発作の関連性とは否定できないため、取り扱いには十分な注意を要する。 皮膚感作性 該当情報なし。(分類できない)
生殖細胞変異原性	該当情報なし。(分類できない)
発がん性	該当情報なし。(分類できない)
生殖毒性	該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器毒性(単回暴露)	ヒトで氷酢酸または大量の酢酸を摂取後、播種性血管内凝固障害、重度の溶血、虚血性腎不全を起こした症例報告が複数あり(PATY (5th, 2001)、ACGIH (2004))、区分1(血液)とした。また、ヒトで吸入ばく露による鼻、上気道、肺に対する刺激性の記載(PATY (5th, 2001))、「ヒトが蒸気を吸入すると気道腐食性、肺水腫が見られることがある」との記述(ICSC(J) (1997))があり、実際に石油化学工場での事故によるばく露で気道閉塞と間質性肺炎を発症した報告(ACGIH (2004))がある。特定標的臓器毒性の、ガイダンスによるカットオフ値は1.0%であるため、区分1(血液、呼吸器性)とした。
特定標的臓器毒性(反復暴露)	該当情報なし。(分類できない)
誤えん有害性	該当情報なし。(分類できない)
12. 環境影響情報	
生態毒性	短期：(急性) 甲殻類(オオミジンコ)での48時間EC50 = 65mg/L(AQUIRE, 2010)であることから、区分3とした。 長期：(慢性) 酢酸には急速分解性があり(BODによる分解度：74%(既存化学物質安全性点検データ))、かつ生物蓄積性が低いと推定される(log Kow=-0.17 (PHYSPROP Database、2005))ことから、区分外とした。
残留性・分解性	該当情報なし。
生体蓄積性	該当情報なし。
土壌中の移動性	該当情報なし。
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の付属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意	
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意	
国連番号	2790
品名(国連輸送名)	ACETIC ACID, SOLUTION more than 10%and less than 50% acid, by mass
国連分類	クラス8

容器等級	—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
国内規制がある場合の規制情報がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法の規定に従う。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。
応急措置指針番号	153
15. 適用法令	
化学物質管理促進法（PRTR法）	指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物に該当しない。
労働安全衛生法	腐食性液体 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物（第57条及び施行令18条、第57条の2及び施行令18条の2）〔酢酸〕 危険性又は有害性を調査すべき物〔酢酸〕 危険物・引火性のもの（施行令別表第1） 危険物に該当しない。 有害液体物質
消防法	
海洋汚染防止法	
16. その他の情報	
参考文献	NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP) 16615の化学商品(化学工業日報社) GESTIS Substance Database
その他	記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。